世界発

2014

880万人の水がめ 窮地

ブラジル南東部 記録的大干ばつ

南半球最大の都市サンパウロを含むブラジル南東部で、深刻な水不足が起きている。過去80年間で最悪とも言われる記録的な干ばつで、貯水池の水位が大幅に低下。この夏までは、数百万人の住民が水道を使えない非常事態に陥るおそれもある。

高層ビルが林立するサンパウロ中心部から、車で北へ1時間半。雨期が始まったばかりの今月上旬、約10億立方メートルの規模を誇るカンタレイラ複合貯水池を訪れると、水が干上がり、広大な土地に草が生い茂っていた。

「ここのあたりは全て水だった。ここ数年で信じられない。」近くで浄水プラントを経営するジョゼ・ホルヘ・ルイス・コスタさん(78)は、水が豊富にあった頃を懐かしむ。

ブラジルでは、水の利用料は、水道料金に含まれる。ただ、貯水池の水は、農業用水や工業用水としても使われ、水力発電所もある。水不足で出力が低下すると、計画停電も検討されている。

ペンパウロ州は、水の利用を巡る紛争が多く、隣の州との間で、水の取り合いになることもあった。ペンパウロ州の組織が農業での節水を取り組んでいるが、「ブラジルでは、水は足りないと思っている人が多い。水不足は学ぶべき現実だ」と指摘。「ブラジルの反省点から学ぶ国が多くなってほしい。」と話す。

ペンパウロ州の干ばつも無関係ではない。「水不足」と語る。その上で、「水不足に対する備えはないと言えない。将来は水をめぐる争いが起こるかもしれない。」と警鐘を鳴らす。

水問題の専門家で国連環境プログラムのオーキ事務局長は、「今後、水の少ない事態ではない」と警告する。（サンパウロ＝田村画）

アマゾン・ダム建設 一旦見送り

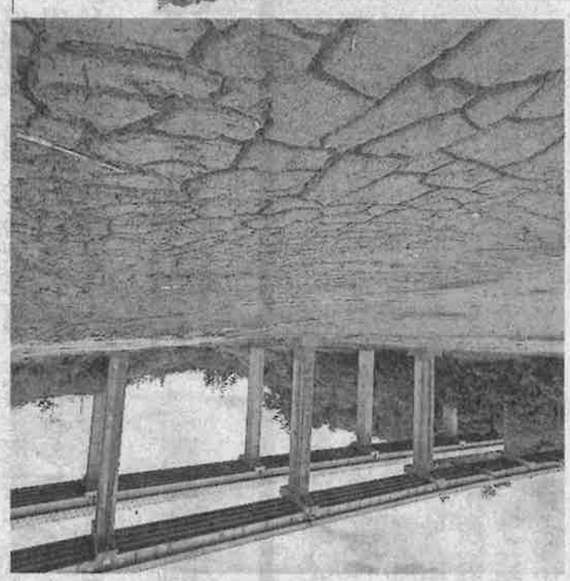
そんな中、環境学者らが10月末、サンパウロで記者会見し、アマゾンの熱帯雨林の伐採が異常気象の一因になっていると報告した。大規模な伐採で、過去40年間に森林の20％が消失した結果、雨を降らせるのに十分な水蒸気がアマゾンから発生しにくくなっていることも問題だ。

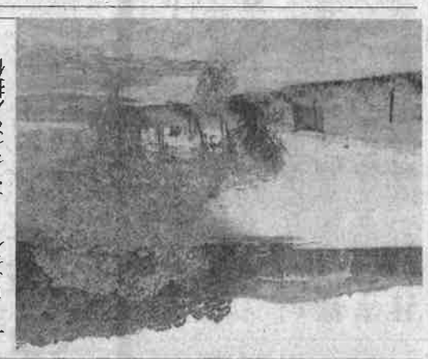
中心になった国立宇宙研究所（INPE）のアントニオ・ノブレ氏は「今後さらに研究が必要だが、ナンパウロ州などの農業生産物への影響が懸念されている。水力発電所も水不足で出力が低下する」と述べた。計画停電も検討されている。

ブラジル・ルラ氏辞任

ブラジル・ルラ氏は10月27日、給水制限に抗議し道路を封鎖する人々＝ロイター

用を控えるほど制限を導入。下水を再利用したり、隣のリオデジャネイロ州から使っている水を引いたりする計画も進めている。一方で、水道管から漏れるなどして割以上の水が無駄になっているのも、インフラの未整備を批判する声も出ている。





上水が干上がったままのタンクを見るルラ氏。下水が枯れたままの貯水池＝ジャネイロ・コパカバナ・コスタさん撮影

10月 貯水量3％に

高層ビルが林立 車で北へ1時間半

雨期始まり 干ばつ続く

「ここは全て水だった」

「信じられない」

「ここの地域は命の水」

「雨が死んでしまう」

影響はすでにでたのっけから。水不足対策として、サンパウロ州が水道の水圧をずいぶん下げたため、蛇口をひねっても水が出ない地域が続出。ポンプ・ワーカーのルイスさんは「水泥棒」も現れているという。

報道によると、多くの地域がなされ、開鎖に追い込まれた学校もある。各地で森林火災も発生。ナトウシコやコーヒーなど農産物への影響が懸念されているほか、水力発電所も水不足で出力が低下するとしたから、計画停電も検討されている。

ペンパウロ州は、水の利用を巡る紛争が多く、隣の州との間で、水の取り合いになることもあった。ペンパウロ州の組織が農業での節水を取り組んでいるが、「ブラジルでは、水は足りないと思っている人が多い。水不足は学ぶべき現実だ」と指摘。「ブラジルの反省点から学ぶ国が多くなってほしい。」と話す。水不足は地球全体の問題で、決して対岸の火事ではない」と警告する。（サンパウロ＝田村画）

給水制限 子子に発展

ヒュッテ・アンデンケ自治体は10月下旬、国会で「今後も雨が降らなければ、お手上げだ。水を求めて周囲を森をさまようことになるだろう」と訴えた。

ブラジル南東部では、過去3月の雨が降らなかったため、水不足が起きている。過去80年間で最悪とも言われる記録的な干ばつで、貯水池の水位が大幅に低下。この夏までは、数百万人の住民が水道を使えない非常事態に陥るおそれもある。

高層ビルが林立するサンパウロ中心部から、車で北へ1時間半。雨期が始まったばかりの今月上旬、約10億立方メートルの規模を誇るカンタレイラ複合貯水池を訪れると、水が干上がり、広大な土地に草が生い茂っていた。

「ここのあたりは全て水だった。ここ数年で信じられない。」近くで浄水プラントを経営するジョゼ・ホルヘ・ルイス・コスタさん(78)は、水が豊富にあった頃を懐かしむ。

報道によると、多くの地域がなされ、開鎖に追い込まれた学校もある。各地で森林火災も発生。ナトウシコやコーヒーなど農産物への影響が懸念されているほか、水力発電所も水不足で出力が低下すると、計画停電も検討されている。

ペンパウロ州は、水の利用を巡る紛争が多く、隣の州との間で、水の取り合いになることもあった。ペンパウロ州の組織が農業での節水を取り組んでいるが、「ブラジルでは、水は足りないと思っている人が多い。水不足は学ぶべき現実だ」と指摘。「ブラジルの反省点から学ぶ国が多くなってほしい。」と話す。水不足は地球全体の問題で、決して対岸の火事ではない」と警告する。（サンパウロ＝田村画）

給水制限 子子に発展

ヒュッテ・アンデンケ自治体は10月下旬、国会で「今後も雨が降らなければ、お手上げだ。水を求めて周囲を森をさまようことになるだろう」と訴えた。

ブラジル南東部では、過去3月の雨が降らなかったため、水不足が起きている。過去80年間で最悪とも言われる記録的な干ばつで、貯水池の水位が大幅に低下。この夏までは、数百万人の住民が水道を使えない非常事態に陥るおそれもある。

高層ビルが林立するサンパウロ中心部から、車で北へ1時間半。雨期が始まったばかりの今月上旬、約10億立方メートルの規模を誇るカンタレイラ複合貯水池を訪れると、水が干上がり、広大な土地に草が生い茂っていた。

「ここのあたりは全て水だった。ここ数年で信じられない。」近くで浄水プラントを経営するジョゼ・ホルヘ・ルイス・コスタさん(78)は、水が豊富にあった頃を懐かしむ。

報道によると、多くの地域がなされ、開鎖に追い込まれた学校もある。各地で森林火災も発生。ナトウシコやコーヒーなど農産物への影響が懸念されている。水力発電所も水不足で出力が低下すると、計画停電も検討されている。

ペンパウロ州は、水の利用を巡る紛争が多く、隣の州との間で、水の取り合いになることもあった。ペンパウロ州の組織が農業での節水を取り組んでいるが、「ブラジルでは、水は足りないと思っている人が多い。水不足は学ぶべき現実だ」と指摘。「ブラジルの反省点から学ぶ国が多くなってほしい。」と話す。水不足は地球全体の問題で、決して対岸の火事ではない」と警告する。（サンパウロ＝田村画）